

BUSINESS

事業内容

当社は設立以来、牛の体内受精卵を専門事業として、
沖縄県の畜産業界を支えています。

体内受精卵の生産について



ホルモン剤投与により生体内で多くの受精卵を生産します。
YTフリーザー（ヤマネテック）を使用して凍結を行っています。
当社は牛の繁殖に関わる体内受精に特化した事業に携わっており、
確かなノウハウと実績が強みです。
衛生面に配慮したスピーディーな採卵や、各個体のタイミングを見極めた移植
技術により高確率の受胎を実現し、畜産業界に貢献しています。

受精卵の移植について

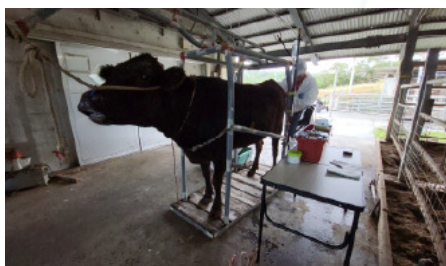
受精卵の移植は高い技術力だけではなく、
牛の健康状態を把握し、移植の可否や最も
移植に適したタイミングを見極めること
も重要です。

明瞭な発情

繁殖の経歴を確認

良好な黄体があるか

移植前日・当日の状態確認



移植予定日の前日、もしくは当日に、黄体や子
宮が良好な状態になっているか確認し移植し
ます。

移植の目安



発情日を0日として、7.5~8.5日目に移植を
行います。ただし個体差があるため、前後する
ことがあります。

ラボの設備紹介

